

真理子先生の

# 女性のミカタ

## 子宮頸がん②

真理子レディースクリニック  
院長

伊藤 真理子

●(いとう まりこ)1986年山形大学  
医学部卒業。山大病院、篠田総合  
病院を経て2005年6月に真理子レ  
ディースクリニックを開業。日本産科  
婦人科学会認定産婦人科専門医。



年間10000人が罹  
患する子宮頸がん。今回  
は予防のお話です。

### 1次予防と2次予防

子宮頸がんの予防には  
「1次予防」と「2次予  
防」があります。前回お  
話したように、子宮頸  
がんの原因ヒトパピロー

マウイルス（HPV）へ  
の感染ですが、HPV感  
染を防ぐワクチン接種が  
1次予防、子宮がん検診  
で早期発見・早期治療を  
目指すのが2次予防で  
す。

この2つを確実にに行え  
ば、子宮頸がんは「最も  
予防しやすいがん」と日  
本産科婦人科学会もお墨  
付きを与えています。

### ハイリスク型HPV

200種類ほどある

HPVの中で子宮頸がん  
になりやすいとされるハ  
イリスク型は14種類ほ  
ど。特に進行が早く、発  
がん性が高い16型、18型  
はワクチンでHPV感染  
を予防できるという結果  
が報告されています。

### 感染すると

ただ残念ながら、14種  
類すべてを防げるワクチ  
ンはまだありません。

合はまず子宮頸がんの前  
段である「子宮頸部異形  
成」に変化し、放置して  
おくと子宮頸がんに進行  
します。その進行ス  
ピードは、  
その方の免  
疫力や感染  
したウイル  
スの型など  
により異な  
り、数年か  
ら数十年と  
も言われて  
います。



HPVの持続感染が細  
胞の最初の変化の原因で  
あり、ウイルスの自然消  
滅を起こりにくくする免  
疫力の低下の原因のひと  
つが喫煙ということが分

かつてきました。

### TVキャンペーンも

テレビでは先月16日か  
ら「今、はじめよう 子  
宮頸がん予防。」という  
キャンペーンが展開され  
ています。1次予防と2  
次予防で大切な子宮と命  
を守りましょう。

〈産婦人科〉

## 真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

医療事務さん  
募集中

詳しくはお問合せ下さい。

